

平成28年度第4回総合政策審議会会議録（概要）

◇開催日時 平成29年 3月22日（水） 午後2時00分～午後3時55分

◇開催場所 烏山庁舎 第2会議室

◇出席者

（審議会委員）中村会長、松本委員、佐藤委員、久郷委員、三森委員、両方委員、網野委員、小堀委員、矢口委員、町田委員、江口委員、吉田委員

（総合政策課）秘書政策グループ 大谷主幹、齋藤課長補佐、関課長補佐

1 開会（進行：大谷主幹）

2 会長あいさつ（中村会長あいさつ）

3 協議事項（進行：中村会長）

（1）第1部 基本構想素案（事務局案）について

①「I 計画策定について」

事務局）資料に基づき説明した。

委員）基本理念について、市民に向けたキャッチフレーズ的なものであれば、「身の丈」が分かり難いように思う。財政が厳しいのは分かるが、危機的状況ということが伝わり難い様に思うので、再考してはどうか。わかりやすいように、具体的な文言のほうが良いと思う。

会長）現計画を策定した際にも議論になった。当時は、後ろ向きであるとの意見から理念自体には入れなかったが、実際の状況としては右肩下がりの状況になっている。

委員）「厳しい財政状況」も後ろ向きの表現であると思う。

委員）「厳しい財政状況」は削除しないほうが良いと思う。市民に財政状況が厳しいと分かるよう強調しても良いと思う。行政だけに任せておけないほど、逼迫した状況であると思う。たとえ後ろ向きでも、市民に理解してもらわないと財政破綻してしまうのではないか。

委員）現計画策定以前には、振興計画等を策定する際には、たとえ財政が厳しくても前向きな表現としてきた。ある程度、先が見えていたにもかかわらず、前向きな計画としてきたため絵に描いた餅になっていた。計画を策定する際には、財政が厳しいとの認識が必要であり、現在の財政状況を踏まえれば、後ろ向きではあるが仕方のない表現であると思う。

委員）現計画の理念を継承するということであれば、変えるのはおかしいのではないか。文章後段の部分は良い表現であるとともに、まちづくりには必要な事項であり、変えないほうが良いと思う。

委員）市民の協力、市民との協働が、厳しい財政のために使われるようにするために、初めから厳しいとしておけば、人の捉え方が変わり、協力、協働の機運が高まるかもしれないのではないか。

委員) 自分としては、この文言のままが良いと思う。「知恵と協働」には重みがあり、市民一人ひとりが汗をかかないと市が発展していかない。文章を読む場合、後段のほうに心に残る。

委員) 「厳しい財政状況」については、残したほうが良いと思う。「身の丈」については、分かり易い表現に変えたほうが良いと思う。

委員) 「身の丈」に代わる文言があれば良いと思うがどうか。

委員) 「厳しい」、「身の丈」と二重に「あきらめ」的なものが見えてしまうので、希望が持てるような文言としてほしい。市民は知恵を出し、現在の状況を打破する様な文言を入れ、明るい未来を描けるようにしてほしい。

委員) この文言のままでは、市民から行政のサービスが下がることを前提にしていると思われるのではないか。

委員) 現在の財政状況について、市民が把握しているのか疑問である。先日の女性団体の会合では、市長に対し、市民ホール、道の駅等の設置を要望しており、財政が厳しいことをわかっていないのではないか。市民に分かってもらうには、こういった表現が必要であると思う。

委員) 理念であるので、市民に伝える場合には、別な部分で訴える方が良いのではなか。どうしたらよいかの理念であり、この表現では良い方向に持っていくことができないのではないか。

委員) 悪い状況は、中途半端に対応することである。本市も限界集落ではあるが、先日講演に来た隠岐の島では、町民全員が限界集落であることを理解して対応しており、結果的に町全体が良くなっている。本市においては、有名な山あげ行事等があり、距離的にも東京に近く、他市町と比較しても遥かに良い環境と思う。

委員) 限界集落との表現については、何をしても駄目とあきらめてしまう人が出てきてしまうので、あまり使わない方が良いと思う。自分の地元でも、自治会に入っている世帯が減ってきており、市外に居住している子供のところに転出してしまっている人が出てきている。立ち直れる地域もあるだろうが、限界集落との文言は入れないほうが良いと思う。

委員) 「ないものはない」との表現は、地域の良さがあるから敢えて言えるもので、全体の流れとして、本市にはどういったものがあり、それをいかに上手に伝えるかが必要であると思う。

委員) 「厳しい」、「身の丈」の表現を、現計画に入れるのは勇気がいった。それまで前向きな計画を作ってきたが、反省してこの文言を入れている。これを修正する場合には、それなりの理由が必要になると思うが、聞かれても説明ができないのではないか。説明ができれば修正等しても良いと思う。

委員) 「厳しい」、「身の丈」両方入れておけば、市民に現在の市の置かれている状況が伝わるのではないか。

委員) 「身の丈」を「できる範囲」などのプラス思考的な表現とし、本市が持っているもので対応することとしてはどうか。

委員) 理念については、このまま継承して良いと思う。文章の文言を修正した場合に、表題も修正が必要になると思う。

事務局)「厳しい」、「身の丈」については、「将来像」の部分で一体的に検討していただきたい。

会長)委員各位からの意見を取りまとめ、基本理念については、現計画の基本理念をそのまま継承し、文言の修正はしないこととする。

～ 一同了承 ～

②「Ⅱ 那須烏山市の概要」

③「Ⅲ 市民意向調査」

④「Ⅳ 前総合計画の成果指標状況」

⑤「Ⅴ 時代の潮流からみた那須烏山市のまちづくりの課題」

事務局)Ⅱ～Ⅳについては前回までの審議会に提示した資料である。Ⅴについては、Ⅱ～Ⅳを踏まえて本市の持つ課題、4項目を掲出している。文言修正等あれば事務局まで連絡願いたい旨説明した。

会長)修正等あれば事務局まで連絡願いたい。

～ 質疑なし ～

⑥「第1部 那須烏山市の将来像」

○「Ⅰ まちの目指すべき姿」

事務局)資料に基づき説明した。

会長)「魅力」と「活力」がキーワードになると思われるので、委員各位のご意見を願いたい。

委員)文章中1行目と2行目に「魅力」が2箇所出てくるので、前段部は削除してはどうか。また、「豊富な資源」というのは貴重な歴史・文化資源と思うが、「地域活力」、「産業活力」とは意味合い的に並列ではないと思うので、始めの「と」を「に」にしてはどうか。

会長)「地域活力」、「産業活力」との文言は、一般的であるのか。分かり難い感じもするかどうか。

委員)「地域活力」は人に関する事、「産業活力」は仕事に関する事とのイメージがつきやすいと思う。

委員)「産業活力」は「地域活力」に含まれるように思われるがどうか。

委員)2行目「本市の魅力向上」について、向上させるのは魅力のみではないと思うので、「本市の魅力向上のため」を「本市の魅力と活力の向上のため」にしてはどうか。

委員)2行目「また」を「更なる」にすれば、別の魅力を向上させるということになるのではないかと思う。

会長)那須烏山市には、地域活力などがあまり見られないため、前段部には「活力」を入れていないと思うがどうか。

委員)女性団体は活発に活動しており、地域の活力はあると思う。他にも様々な団体活動等を実施しており、それなりに那須烏山市にも様々な地域等の活力はあるのではないかと思う。

委員)那須烏山市に活力が有るか無いかでいえば、活力はあると思われる。

委員) 全体的には、「様々な活力を活かして、魅力あるまちづくりを目指す」ということであると思うので、それに沿った言い回しにすれば良いのではないかと。

会長) 後段部「そのため、～実現し、」までを削除すれば、文章の繋がりが良いと思うがどうか。また、4行目「子どもの成育」との表現はあまり使われていないように思うがどうか。

委員) 「子どもの成育」との表現が一般的ではないかと思う。成育は育てる、成育は自然に育つとのイメージがある。

事務局) 「市教育振興ビジョン」では、「子どもの成育」との表現を使っているため、ここでも「成育」を使っている。

委員) 「成育」という文言は、子どもの成長を地域みんなで見守るといような意味合いがあると思う。

会長) 3行目「地方創生」という文言は抽象的であるが、文章的には分かり難いように思うがどうか。

委員) 「地方創生への取組み」を「市民一人」の前に入れば、文書的にも繋がるのではないかと。

委員) 「地方創生への取組み」を「ひとりの活躍」の後に入れば、文章の繋がりとしても良いと思う。

会長) 委員各位からの意見を取りまとめ、審議会からの提案として、表題はこのままとし、文章は「本市は、豊かな自然環境に恵まれ、素朴で貴重な歴史・文化資源が豊富に存在する地域であります。本市の魅力と活力の向上のためには、急速な少子高齢化の進展に的確に対応し人口減少に歯止めをかけ、将来を担う心身ともに健やかな子どもの成育、市民一人ひとりの活躍による地方創生が不可欠であります。そして、誰もが暮らしやすいまちづくりを目指します。」に修正することでどうか。また、基本目標については、案のとおりとすることでどうか。

～ 一同了承 ～

○「Ⅱ 将来の人口フェーム」

○「Ⅲ 都市構造の基本的な考え方」

事務局) Ⅱ、Ⅲについて資料に基づき説明した。

～ 質疑なし ～

○「Ⅳ 財政フェーム」

事務局) 財政フェームについては、現在財政担当と調整中であり、確定後、委員の皆さんに提示する旨を説明した。

～ 質疑なし ～

○「Ⅴ 公共施設等管理計画」

事務局) 資料及び「那須烏山市公共施設等総合管理計画（概要版）」について説明した。

～ 質疑なし ～

○「Ⅵ 総合戦略との関係」

事務局) 資料に基づき説明した。

～ 質疑なし ～

○「Ⅶ 政策の基本方向」

事務局) 今後、庁内で調整を図り確定する旨を説明した。

～ 質疑なし ～

(2) その他

事務局) 今後、基本構想(事務局案)について、中村会長と調整して答申を市長あてに提出することとしたい。その後、庁内及び市長と調整を図り、基本構想(案)を策定することとなる。

～ 一同了承 ～

4 その他

① 次回会議の日程について

事務局) 次回の審議会は、4月下旬または5月連休明けに開催予定である。日程が決まり次第連絡する。

② 委員の変更について

事務局) 団体等で異動等のため委員が変更となる場合には、事務局まで連絡をお願いしたい。

③ 会議録の確認について

事務局) 前回までの会議録について、ご意見等なければ市ホームページに掲載する。

～ 特に意見なし ～

④ 事務局職員の異動について

事務局) 事務局の坂本課長が退職、大谷主幹、関課長補佐が異動となり、4月から新しい体制となる。今年の審議会開催にご協力いただきお礼申し上げます。

5 閉会

事務局) その他特になければ、終了する。 午後3時55分終了